

第1回近畿「子どもの水辺」交流会を開催

近畿「子どもの水辺」交流会は、近畿各府県において小・中学生等が学校や地域で取り組んでいる水辺活動や調査等を発信してもらい、「水辺」への関心・愛着の向上、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図るとともに、上下流・府県間など「水辺」に関わる方々の交流を深めていただき、共につくり、守り、育てる「水辺づくり」をめざすもので、**36団体（約400名）**が参加し、近畿で初めて開催しました。



NHK(総合)テレビの取材もありました。
当日お昼のニュースで放送されました！

開催日時：平成20年3月1日(土) 10:30～16:00

開催会場：エル・おおさか(大阪府立労働センター) 大阪市中央区北浜東3-14

主催：近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会(※)

後援：近畿各府県教育委員会、近畿農政局、北陸農政局、東海農政局、(財)大阪労働協会、

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

協力：大阪子どもの水辺ネットワーク、(株)共立理化学研究所、(財)河川環境管理財団

※近畿「子どもの水辺」交流会は「河川環境管理財団」の助成で実施

【内容】

<第1部>

グループ別交流会

- ・小・中学生による発表
- ・ポスターセッション

<第2部>

全体交流会

- ・参加者みんなで大交流会

<第3部>

体験・交流プログラム

- ・体験ブース、作品展示等

各府県からの参加団体【36(展示のみ(7)含む)】及びコンクール等展示作品【3】

●滋賀県

- あたらしや学問所
- エコスクール笠縫東葉山川博物館運営委員会
- 伯母Q五郎～伯母川研究こどもエコクラブ～
- 蒲生野考現倶楽部
- しやくなげ学校
- 守山こどもエコクラブ

●京都府

- 亀岡市地球環境子ども村
- 京都市山科青少年活動センター「ホタルクラブ」
- NPO法人子どもと川とまちのフォーラム
- 西京極児童館自然探検隊2004
- NPO法人 流域調整室

●兵庫県

- 赤穂市立高雄小学校
- 生き物探偵
- NCアソシエイツ
- 御前浜・香櫛園浜プロジェクト(西宮市立香櫛園小学校)
- チャンネルレガッタ神戸
- 篠山市立後川小学校
- 宍粟市立菅野小学校
- 学校法人瀧川学園滝川中高等学校
- 福田川探検隊

●大阪府

- 曙川東地区わくわく推進委員会(わくわく農園)
- 池田市立泰野小学校
- 石川子ども自然隊
- 貝塚市立南小学校「かわっぱクラブ」
- 啓光学園サイエンス部
- 堺市立神石小学校 理科・栽培委員会
- 桜っ子芥川研究団(高槻市立桜台小学校)
- 高向エコキッズ
- 永津円花・星斗(和泉市立いぶき野小学校)
- 寝屋川市立池田小学校
- 寝屋川市立木屋小学校
- 八尾市立安中中学校

●奈良県

- ガールスカウト奈良県第43団
- 天理市立柳本小学校
- 奈良市立佐保川小学校
- 奈良市立鶴舞小学校

●コンクール等展示作品

- 絵画コンクール優秀作品(和歌山県)
- タイの子どもの作品
- 大和川コンクール受賞作品(大阪府・奈良県)

(※) 近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会 構成メンバー 【活動団体等12団体、行政等7機関】

【活動団体等】

○草津塾(滋賀県)、○たいこ橋さざなみフェスト実行委員会(京都府)、○子どもと川とまちのフォーラム(京都府)、京都河川美化団体連合会(京都府)、○大阪子どもの水辺ネットワーク(大阪府)、○近木川流域自然大学研究会(大阪府)、○NPO法人大阪水かいどう808・ONALC「天の川クラブ」(大阪府)、○アクアフレンズ(大阪府)、○福田川クリーンクラブ(兵庫県)、○チャンネルレガッタ神戸実行委員会(兵庫県)、○NPOシンフォニー(兵庫県)、○大阪産業大学人間環境学部谷幸三(奈良県)

【行政等】

○近畿地方整備局企画部・河川部、○滋賀県土木交通部河港課、○京都府土木建築部治水総括室河川計画室、○大阪府都市整備部河川整備課、○兵庫県県土整備部土木局河川計画室、○奈良県土木部河川課、○(財)河川環境管理財団河川環境総合研究所

第1部 グループ別交流会より



5つのグループに分かれ、コーディネーターの進行で、各地域の水辺活動団体の子どもから活動発表を行いました。会場からは「外来種はどこからくるの」「ビオトープづくりで気をつけることは」などの質問があり、コーディネーターだけでなく、会場の参加者も質問にこたえるなど、大いに盛り上がりました。

第2部 全体交流会より



本交流会実行委員会的美濃原会長の挨拶のあと、各団体から代表の子どもが登壇し、京都大学大学院工学研究科の神吉紀世子准教授をコーディネーターに、なごやかな雰囲気の中、交流が行われました。事前に各団体から出された「楽しかったこと」「相談したいこと」などが書かれた意見シートを紹介しながら意見交換。大阪産業大学谷幸三先生、美濃原実行委員会会長、大阪府辰谷河川整備課長からも、それぞれコメントがありました。また今回開催地の大阪府橋下知事、来年度開催地の滋賀県嘉田知事からのメッセージも紹介されました。

第3部 体験・交流プログラムより



水の浄化実験



タイの子どもの作品も展示



水のオリンピック (WET提供)

参加者の声

発表した子どもたちの感想

- ほかの団体の発表が聞けてすごく勉強になったし、私たちの活動をみんなに知ってもらうことができ、とてもよかったです。
- 交流会に参加して、川の水質のことや生き物のことを教えてもらって、とても勉強になりました。これからは、魚がすみやすいように、自然の川を壊さないように大切にしていきたいです。

発表団体代表者の感想

- たくさんの団体が様々な活動をし、学習していることを知り、大変勉強になりました。また子どもたちが発表する機会を持つことで、一層水辺に関心を持ち、取り組むことができ、いい体験ができたと思います。

一般来場者の感想

- 子どもたちが本当にいきいきと、楽しんで活動している様子に、未来を感じます。
- 地域における水辺の活動がさらに広がり、充実できるよう、この交流会を是非継続してほしいです。

「子どもの水辺」
交流会40人集う
大 阪
小中学生らが水辺で取り組んでいる活動や調査などを発表する第1回近畿「子どもの水辺」交流会が1日、大阪市中央区のエル・おおさかで開かれた。大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良各府県から29団体が参加。子どもたちと父母、指導者ら約400人が集まった。子どもたちは交流会で水辺の魅力や活動の思い出を発表したあと、水についての学習や工作も楽しんだ。水辺で活動する団体や国土交通省近畿地方整備局などで行う実行委員会が主催した。

2008/03/02 (日)
朝日新聞 (朝刊)
28面